

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	ユネスコ国内委員会の連携強化		担当部局庁	国際統括官付		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和40年度		担当課室	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司	
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-2 国際協力の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第3条)		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国とアジア・太平洋地域等ユネスコ国内委員会間の教育、科学及び文化分野における国際交流を実施し、日本と世界との間の理解と協力関係を進め、ユネスコ憲章が定める国際平和の促進に寄与する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員等を我が国に招へいし、我が国のユネスコ関係機関への訪問、国内委員会職員との意見交換等を通じ、我が国のユネスコ活動理解のための研修を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	3	3	2	2	2
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	3	3	2	2	2
	執行額	2	2	2			
	執行率(%)	66.7%	66.7%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	日本と世界との間の理解と協力関係を進め、ユネスコ憲章が定める国際平和の促進へ寄与することは、様々な活動の総合的な成果として現れるものであるため、本事業のみによる定量的な成果指標の設定は困難。			成果実績	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員等の招へい者数			活動実績(当初見込み)	人	4	5
単位当たりコスト	0.4百万(円/人)		算出根拠	= 予算執行額(2百万円※) ÷ 招へい者数(5人) ※平成22年度			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	旅費(職員・外国人)	1百万円	1百万円				
	招へい外国人滞在費	1百万円	1百万円				
	計	2百万円	2百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員を我が国に招へいし、我が国のユネスコ活動理解のための研修を実施することを目的とするものであり、特に中国、韓国、タイとは双方向の交流を継続的に行い、良好な関係構築に貢献している。今後の事業実施にあたっては、効果的・効率的な事業実施に努めることにより、執行の改善を図る必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員を我が国に招へいし、我が国のユネスコ活動理解のための研修を実施することを目的とするものであり、今回、予算の積算の適切さの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：平成22年度から予算の縮減を図るなど一定の見直しを図っており、現時点において見直しの余地はないが、今後の事業実施に当たっても、効果的・効率的な事業実施の確保に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

ユネスコ国内委員会の連携強化

文部科学省
2百万円

旅費(職員・外国人) 1百万円
外国人滞在費 1百万円

アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員を我が国に招へいし、我が国のユネスコ活動理解のための研修を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	ユネスコ国内委員会の連携強化に係る職員及び招へい外国人旅費	1			
招へい外国人滞在費	ユネスコ国内委員会の連携強化に係る招へい外国人の滞在費	1			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0